

雪印種苗(株)の研究開発アウトライン

■当社の研究開発の特色

1. 当社は土地利用型大家畜農業の発展に寄与するべく創業された会社であり、そのルーツにのっとり、種苗会社と称しているが、研究部門では、農場において、そのスタート時より乳牛・肉牛を繋養し、身を持って地力培養を具現させ、併せて、配合飼料の製品開発、飼養技術の立証・普及も行なっている。
2. 当社は現地密着型の研究開発・普及指導をモットーとし、北海道・千葉県・宮崎県に研究農場をおき、寒帯～温帯～亜熱帯と変化する気象条件と対応し、併せて、生産者・消費者の要望と直結した研究開発を推進できる体制が整っている。
3. 研究開発の近年の動向としては、バイオテクノロジージャンルの強化を図り、植物バイオの展開による育種年限の短縮、微生物機能の活用による商材開発などで、その成果を上げている。また、(株)飼料作物改良増殖技術研究所への出資と研究員の派遣を行い、DNA関連研究も進めている。
4. 当社の研究開発を構成・推進する4つのキーテクノロジーは下記のとおりであり、それらを統括するグランドキーテクノロジーとしては、“地力培養技術”と“微生物コントロール技術”が挙げられ、これが“自然・大地を大切にした諸々の研究開発・製品開発”の共通技術基盤となっている。

■研究開発を推進するキーテクノロジー

1. バイオテクノロジー (植物バイオを中心とする基礎研究)
〈微生物・微小動物の機能開発も含む〉
2. シードテクノロジー (種苗の機能開発及び栽培研究)
3. フィードテクノロジー (飼料の開発及び飼養技術研究)
4. グリーンテクノロジー (草地・緑化・造園、総合研究)

■キーテクノロジーの相互関係

上記1.～4.のキーテクノロジーは、環境という大きな舞台上で、相互に関連を持って、畜産分野・耕種農業分野・施設園芸分野・緑地・造園分野等々へその開発成果を継続的に提供している。

